

## 2013 年度ゼミ活動紹介

第 10 期ゼミ長 石井 隆太

OB・OG の皆様、お世話になっております。第 10 期ゼミ長の石井隆太です。振り返ってみますと、小野ゼミでの 2 年間を通して多くの OB・OG の方々と交流することができ、面識ができましたこと、非常に嬉しく思っております。そうした OB・OG の方々に、あるいは、これから面識ができます OB・OG の方々に、この寄稿文を読んで頂けるのではないかと期待こそが、この寄稿文を執筆する私の最たるモチベーションです。今後とも、ゼミを盛り上げていけますよう、ご支援のほど宜しくお願い致します。

さて、私からは、簡単ではありますが、今年度 1 年間のゼミ活動をご紹介します。2013 年度、小野見典研究会は、第 10 期生 17 名、大学院生 4 名に加えて、第 11 期 15 名と、大学院生 4 名（小野ゼミ第 9 期から 1 名、中国から 2 名、台湾から 1 名）を新たに迎え入れ、総勢 40 名で活動致しました。

各期の活動を簡単にご紹介しますと、まず、3 年生に当たる第 11 期生は、基礎文献レポート、多変量解析技法レポート、英書講読課題を通して知識を吸収すると共に、ディベート、ケース・メソッド、データ解析、三田祭論文執筆にて、それらの知識をアウトプットすることに励みました。英書講読課題は、今年度から始めた新たな取り組みの 1 つです。サブゼミにて大学院生にレクチャーして頂いた英語論文について、課題としてその英語論文の全訳や要約に取り組むことを通じて、早くから英語論文に親しむことを目的にした活動です。また、4 月下旬の春合宿にて役職決めが行われた後は、第 11 期生各自が先輩からそれぞれの仕事を必死で教わり、ゼミの運営にも携わりました。次に、4 年生に当たる第 10 期生は、1 年間を通して、主に第 11 期生の指導と、卒業論文執筆に励みました。第 11 期生の指導について、具体的には、多変量解析技法のレクチャー、三田祭論文の添削、各役職の引継ぎなどを行いました。

続いて、今年度の主なイベントを時系列順に振り返ってみたいと思います。4 月下旬、栃木県的那須にて春合宿が行われました。第 11 期生は役職決め、第 10 期生は今後のスケジュールに関する議論が、主な目的でした。夜には懇親会が催され、今年度共に活動していく 2 つの期の交流が図れました。

6 月上旬、関西大学の岩本明憲ゼミナールと慶應義塾大学の高田英亮ゼミナールを交えて、第 5 回目となるインカレディベート大会が開催されました。参加した第 11 期生が白熱した戦いを見せてくれて、結果は、見事 2 戦 2 勝でした。勝利への喜びと、負けられないというプレッシャーからの解放によって、涙を流す第 11 期生も居たことが印象的でした。

9 月上旬、群馬県の尾瀬にて夏合宿が行われました。夏合宿の目玉である夏ケースですが、今年度は 76



学部パンフ 2014 に掲載予定の著者のポートレート

ページもの大作が出来上がりました。第11期生4チームに、一部第10期生も混ざりながら、それぞれがケースを解きました。また、帰途にて、桃狩りを行い、甘くて美味しい桃をお土産に頂いてきました。

10月中旬、慶應義塾大学の高橋郁夫ゼミナール、高田英亮ゼミナールと共に、第3回となる3ゼミ合同三田論中間発表会が開催されました。小野ゼミからは、インゼミチームが出場し、高橋郁夫先生、高田英亮先生、大学院生の方々から貴重なコメントを頂きました。発表会終了後には、懇親会が催され、兄弟ゼミである3ゼミが交流を図りました。

11月上旬、神戸外国語大学にて開催された第3回全国マーケティング・コンペティションに、小野ゼミから有志4名1チームが参加しました。結果は、何と優勝！小野ゼミ過去3回の成績を振り返りますと、第1回目8位入賞、第2回目準優勝、そして第3回目優勝ですので、過去出場した先輩達の反省点を活かし、確実に上位に上り詰めていった結果として、勝ち取れた優勝ではないかと思っております。

11月中旬、三田祭初日にマーケティングゼミ合同研究報告会が開催されました。今年の「マケ論」出場チームのテーマは、「Webサイト上におけるパーソナライズド広告」でした。直前まで練習したプレゼンは、一部セリフが上手く言えない部分もありましたが、直前までのバタバタ劇にもかかわらず大健闘した発表でした。

11月下旬、四分野インゼミ発表会が開催されました。今年の「インゼミ」出場チームのテーマは、「ワケあり製品購買意図」でした。それまでの練習でも順調な様子を見せていたチームですが、本番の発表は、間違いなくそれを上回るまさに最高の発表でした。

同日、学習院大学にて関東学生マーケティング大会（旧関東十ゼミ討論会）が開催されました。今年の「関マケ」出場チームのテーマは、「セールス・プロモーションにおけるゲーミフィケーション」でした。工夫を凝らした発表をしてくれたにもかかわらず、第1回戦で惜敗を喫しましたが、小野ゼミでは通算2度目となる論文賞を受賞することができました。



夏合宿の集合写真（群馬県尾瀬みさわ旅館にて）

そして、今年度も小野ゼミは、学内外で多数の学術的な活動を展開致しました。2013年6月上旬、欧州マーケティング・アカデミー(EMAC: European Marketing Academy)が開催する年次会議(Annual Conference)に、厳しい論文審査をパスして、大学院生の竹内亮介さんと共に、第10期インゼミチームの小笠原裕公君、中村世名君、笹本理乃さん、仙田晃史君、福室成彦君が参加しました。今年の開催地は、トルコのイスタンブールでした。国際的な舞台で自らの研究を発表し、また、世界中の研究者と交流することによって、よい刺激が受けられました。

6月下旬、第10期のマケ論チームの研究が、日本プロモーション・マーケティング学会から研究助成を獲得しました。助成を受けた研究は、2014年3月中旬に同学会にて発表することが予定されております。

2014年1月上旬、慶應義塾大学商学会賞に、6本の論文が採択されました。例年、規定により、投稿できる論文の共著は3名まででしたが、今年度は、6名まで可能となったため、三田祭論文も積極的に投稿致しました。小野ゼミは、ゼミ再開後、途絶えることなく6年間連続して受賞者を輩出したこととなります。

今年度、こうして実りあるゼミ活動ができましたのは、OB・OGの皆様の支えがあったお蔭です。この場をお借りして、今年度お世話になったOB・OGの皆様をご紹介させて頂くと共に、感謝の言葉を述べさせていただきます。

2013年3月19日、第11期生の入ゼミ選考会後の歓迎会に、井川倫士先輩(第1期)、池谷真剛先輩(第5期)、日浦一樹先輩(第7期)、中川美穂先輩(第7期)、氏田宗利先輩(第7期)、前田良平先輩(第9期)、水田弥英先輩(第9期)、渡邊光平先輩(第9期)、山口健人先輩(第9期)がご参加くださいました。ありがとうございました。

4月16日・23日のサブゼミにて、杉山摩美先輩(第3期)がご講演してくださいました。2週にわたる講演を快く引き受けてくださり、ありがとうございました。

7月9日のサブゼミ後に、池谷真剛先輩(第5期)がご講演してくださいました。お忙しい中、ありがとうございました。

7月12日の春学期納会に、横山嵩先輩(第3期)、松山昌司先輩(第5期)、氏田宗利先輩(第7期)、荻野真央先輩(第8期)がご参加くださいました。ありがとうございました。

10月11日の本ゼミに、岸本啓太郎先輩(第7期)がいらっしやいました。貴重な休日にお越し頂き、ありがとうございました。

11月21日～24日の三田祭期間には、沢山のOB・OGの方々ブースに来訪してくださいました。岸本啓太郎先輩(第7期)、澤井友香里先輩(第7期)、荻野真央先輩(第8期)、岩崎裕士先輩(第8期)、勿本慎弥先輩(第9期)、猿渡裕也先輩(第9期)、山口健人先輩(第9期)、渡邊光平先輩(第9期)、毎川絢子先輩(第9期)、ありがとうございました。また、菅原暉先輩(第9期)には、ゼミ長内藤家に栄養ドリンクを送って頂きました。ありがとうございました。そして、三田祭の打ち上げには、高木研太郎先輩(第3期)、横山嵩先輩(第3期)、荻野真央先輩(第8期)がご参加くださいました。ありがとうございました。

した。

12月6日の第1回オープンゼミに、帰省中だったということで、石田陽一朗先輩（第8期）がいらっしやいました。2年生に小野ゼミの良さを話して頂きまして、ありがとうございました。12月20日の第2回オープンゼミにて、氏田宗利先輩（第7期）と荻野真央先輩（第8期）が、「小野ゼミでの経験が社会に出てからどのように役に立つか」をテーマに、ご講演してくださいました。お二人とも、お忙しい中、ありがとうございました。12月27日の秋学期納会に、上田修平先輩がご参加くださいました。ありがとうございました。

OB・OGの皆様、今年度も、我々現役生にお力添え頂き、本当に励みになりました。誠に、ありがとうございました。先輩方の目から見ると、現役生のやり方は、時に“甘く”見えるのではないかと思います。しかし、いつの時代も、現役生は、その時代の変化に対応しながら、自分達なりに精一杯ゼミ活動に励んでおります。そして、この先も、現役生は、先輩方が残してきた輝かしい伝統を受け継ぎつつ、自ら革新的な活動を精力的に展開していくことでしょう。そんな小野ゼミがさらなる飛躍をするためには、現役生と共に、ゼミを盛り上げてくださいますOB・OGの皆様のサポートが必要不可欠であると信じております。小野ゼミという名を汚さぬように、また、その名をさらに高めるために全力で頑張る現役生に対して、“厳しく”も“温かい”ご指導ご鞭撻を頂けましたら、幸甚に存じます。

今年度は、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。そして、来年度からも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2013年忘年会の集合写真。小野ゼミのホーム「つるのや」にて